

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山スイキユウ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0944 岡山県岡山市南区泉田371-1	
本票作成	部署名：経理部				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内の4営業所に約250台の車両を配置し道路貨物運送業を行っている。従業員は約500名。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉富物流センター		岡山市中区倉富367-4	
	②	瀬戸内物流センター		瀬戸内市長船町土師168-1	
	③	泉田営業所		岡山市南区泉田371-1	
	④	早島物流センター		都窪郡早島町矢尾812-6	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 259 台)				

計画期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.4 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成29年度)			目標年度 (平成34年度)					
	11,685 t CO ₂			12,700 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成29年度) の排出量					
	①	倉富物流センター		5,184 t CO ₂					
	②	瀬戸内物流センター		4,822 t CO ₂					
	③	泉田営業所		1,245 t CO ₂					
	④	早島物流センター		432 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	売上金額		基準年度	目標年度
			247	236
		t CO ₂ / (億円)	t CO ₂ / (億円)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成29年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

車両燃費向上の為、エコドライブの実施や最新規程適合車を積極的に導入する。
倉庫内冷暖房の温度調整管理、ドアの開閉に関して気を配る。

【目標削減率達成のための推進体制】

各営業所に管理者を置き、現場での指導強化
 本社管轄の専任指導官を任命し、各営業所へ出向きエコドライブ等の指導強化。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全営業所	最新規程適合車の導入 エコタイヤ交換 省エネ運転講習会を受講させる デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導 走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換 タイヤ空気圧を毎月管理者が確認し、適切な空気圧を管理 乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算 ドライブレコーダーの追加導入

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全営業所	最新規程適合車の導入 エコタイヤ交換（今期より専門業者へ管理を依頼） 省エネ運転講習会を受講させる（今期より管理者を受講させる） デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導 走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換 タイヤ空気圧を毎月管理者が確認し、適切な空気圧を管理 乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算 ドライブレコーダーの追加導入 管理者によるエコドライブの指導を実施 専任指導官によるエコドライブ等の指導

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】